平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
I	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
	スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育
成	
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1実践テーマ	[I、II、V]
2実施対象者	札幌市立美しが丘小学校
	4年生(34名)
3展開の形式	(1) 学校における活動
	① 教科名 (総合的な学習の時間、道徳)
	②行事名(
	③ その他 ()
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
	② その他 ()
4 目標	札幌オリンピックミュージアムで体験学習を行ったり、オリンピ
(ねらい)	アンの話を聞いたりすることで、オリンピックやパラリンピックの
	理念を知り、他者への共生の思いをもちながら生活する態度を育て
	ි
5 取組内容	<札幌オリンピックミュージアムを活用した学習> 札幌オリンピックミュージアムで
	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
	② ミュージアムを体験する
	③ リフトでジャンプ台の頂上へ
	の3つのプログラムで体験学習を行う
	O指導計画
	【5時間扱い】
	①総合的な学習の時間:1時間(16時間扱いの中の)
	◆「やさしさ探検隊」~車椅子体験~
	• 障害者相談員に来校していただき、車椅子体験を行い、車い すで生活する上での苦労や子どもたち自身がお手伝いできる
	9 C主治9 るエ Cの占力ですともたり自身がの手位ができる。 ことを教えてもらう。
	②道徳の時間:1時間
	◆私たちの道徳(小学校3・4年)
	1. 自分を高めて
	「やろうと決めたことは最後まで」の直を読んで、自分はどの

ようなことをがんばりたいと思っているかを話し合う。 ③東京オリンピック・パラリンピックマスコット投票の際の授業 ◆オリンピック・パラリンピックの理念及びマスコットの役割 ④総合的な学習の時間:1時間(16時間扱いの中の) ◆「やさしさ探検隊」~アダプテッド・スポーツ体験~ ・障害とは何かを考え、心身機能や構造は変えられなくても、 用具やルールを変えることでより多くの人たちとスポーツを 楽しむことができることを学ぶ。 4総合的な学習の時間:1時間(16時間扱いの中の) ◆「やさしさ探検隊」~オリンピズムを学ぶ~ • 札幌にある施設を見学し、オリンピック・パラリンピックの理念を知るこ とで、他者との共生の思いをより膨らませる。 本校の総合的な学習時間の4年生の単元に、「やさしさ探検隊」と 主な成果 いう車椅子体験を通して、バリアフリーやユニバーサルデザインに ついて考える学習がある。12月に、障害者相談員の杉本正夫さん に来校していただき、車椅子で生活する上での苦労や子どもたち自 身がお手伝いできることなどについて教えていただいた。実際に、 車椅子に乗っての体験もした。また1月下旬には、教育大学岩見沢 校の協力を得て、「アダプテッド・スポーツ」の体験学習をすること ができた。「アダプテッド」とは適合するという意味で、それぞれの 身体の状況に合わせて運動の内容やルールを工夫していくという考 え方である。様々な身体の状況の人々が一緒にスポーツを楽しむこ とを学んだ。オリンピックミュージアムでは、オリンピアンの椿文 子さんのお話を聞いたり、オリンピックの理念にについて教えても らったりした。関係する学習を近い時期で行うことができたという こともあり、子どもたちにとって、スポーツというものの幅が広が り、障害者スポーツやオリンピック・パラリンピックへの関心が高 まる貴重な学習だった。 7実践におい 取組の内容に記載した通り。 て工夫した点 (事業の特 色) 8主な課題等 本校の4年生は、福祉について総合的な学習を中心に学んでい る。 今回の『札幌オリンピックミュージアムを活用した学習』で、パラ リンピアンの方の話を聞くことができたり、パラリンピックの様子 や意義などを教えてもらったりすることを中心に学習できれば、福 祉に関する学習とより関連付けることができると考える。、『札幌オ リンピックミュージアムを活用した学習』を他の学習とうまく関連 させる指導計画を立てていきたい。 9来年度以降 経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。 の実施予定